

第87回（平成29年度第4回）番組審議会議事録

1. 開催日時：平成29年11月20日（木）午前10時00分～11時30分

2. 会 場：西宮市役所東館8階 805会議室

3. 委員の出席 委員総数 : 7名

出席委員数 : 7名

放送事業者側出席者 代表取締役社長 : 1名

統括部長 : 1名

西宮市広報課長 : 1名

4. 議題

番組内容についての審議

「夢に向かって！ゴールにロックオン！」 毎月第1、2月曜 17:00-17:30

教育キャスターの内田愛さんが認知心理学や最新の脳機能科学を使って、本当の力を引き出す方法をお話する番組

5. 議事概要

社長より審議をお願いする等の挨拶。事務局より委員総数7名中7名の出席で、過半数出席、会は有効に成立している旨の報告。その後、議題に沿って各委員から意見をいただき、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進行。

6. 審議内容

番組の審議（発言要旨）

委員長：お聴き頂いた番組について審議に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委員：教室のインフォーマーシャルですか。そうであれば問題はないと思う。

委員：宝塚教育センターへのインタビューは面白かった。就学前の幼稚園、保育園と小学校の連携など幼児教育センターの取り組みに興味深く聞いた。聞き手の教育キャスターも上手に成果を引き出していた。ただ、この人の自己宣伝トークがインタビューの前後に入り、聴取者に混乱を招く恐れがないか気になった。広告と情報を識別できるように配慮することが必要だ。コミュニティFM局にとって広告は経営上、大変重要だ。それだけにタイアップ番組や

インフォーマーシャル、番組連動型CMをどのように扱うか、これを機会に社内
で議論をしていただけるようお願いしたい。

委員：私も少し気になった。聴取者からなにか意見等ありましたか。

事務局：直接はあまりないが、面白い方だな等、他のパーソナリティからの反応はある。実際にゲストで出ていただいたこともあります。

委員長：ゲスト以外の部分は毎回同じことを話しているのですか。

事務局：基本的な構成と時間配分は同じで、紹介するセミナー等がその都度変わっています。

委員：双方向教育やアクティブラーニングなど、この方が話されている内容は大学教育の現場では当たり前のこと。私は言葉の方が専門ですが、ゲストの方を褒めるときに頻発されている「すごい」という言葉に意味はない。この方の話し方を聞いてそういった使い方に引っかかりを感じる。教育研究家を名乗るのであればそういった話し方も含めて、もう少し中身のあることを言って欲しい。「すごい」が何回も出てきて、口癖なのだと思うが相槌のように使っているのが印象的だった。相手に乗せてコミュニケーションを語る彼女のテクニックかもしれないが、私には気になった。

委員：夕方の時間帯なので幼児教育の内容であれば耳を傾ける。同じことを何回も言ってもらえるとメモを取るのには助かるので利点だと思う。

委員：一般社団法人としての活動は気になるが、番組の考え方としては悪くないと思う。ホームページのURLにsakuraと入っているとさくらFMがなにかしら後援しているのではという印象を与えるのではないかとは思った。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会で意見を頂いた事への謝意を述べ閉会にあたって挨拶を行った。次回の審議会は平成30年1月22日午前10時00分と決定した。

議長は午前11時30分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ（URL
<http://sakura-fm.co.jp/>）にて掲載。

平成29年11月20日
さくらFM株式会社